

かんじにがてへいき

漢字苦手でも平気

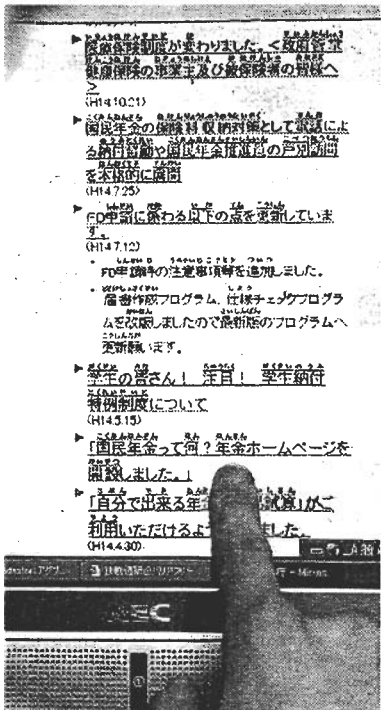
学習障害で漢字の読めない人や外国人向けに、利用者是一度ユーザー電子メールやサイト上の登録をすれば、後は「ア

漢字に自動的にルビを振るサービスを、IT(情報技術)を活用した障害者支援に取り組む団体「アタプティブテクノロジ」が無料で始めた。使われているすべての漢字に自動的にルビが振って表示されるが、同じ機能の市販は、情報の提示の仕方をパソコン用ソフトと違って無料で、携帯電話から展開して、「その人の障害も利用できるなどの特長の種類や程度、属性や好み、TPO(時、場所、状況)に合わせて情報を提供できるようにした

メールやHP用にルビ振りサービス

障害者支援団体

を音声で読み上げるパソコンソフトを日常的に活用し、慶応大大学院で研究活動に取り組んでいる。ITの恩恵を受ける一人だが、現在の障害者支援技術には不自由さを感じるという。例えば音声読み上げソフトでパソコン画面の意味をつかもつとすると、文章を最初から最後まで聞いていなければならぬ。いじりたいが、現状では障害者が、支援技術の仕様に合わせる形で利用せざるを得ない。鳥原さんは「パソコン 今後は平仮名のルビの代わりに、英語や中国語の単語を表示する、バリアフリー型ホームページ制作会社「アイ・クリエイツ」(東京都町田市)の羽川和男代表で、システムを理想として思い描く。外出先で見掛け術が実現すれば誰にとっても便利になると思う。ラ付き携帯電話で撮影しと意義を語る。鳥原さん「漢字が苦手」という人が合わせてルビを振ってメールで送れば、ルビも「日本人や障害者だけ」でなく、全世界の人が利用できるようにしたい」と意気込んで



ホームページ画面上の漢字にルビを振って表示される